

# 誰のための 地方自治なのか

自治財政局財務調査課助成係長

**岡本 理恵**

OKAMOTO Rie

平成17年 10月 総務省採用

自治行政局選挙部選挙課

平成19年 4月 北海道企画振興部地域振興・計画局市町村課

平成21年 4月 消防庁総務課

平成23年 4月 自治税務局市町村税課

10月 自治税務局市町村税課諸税係長

平成25年 4月 自治財政局財務調査課財政健全化係長

平成28年 4月 現職

## 『過疎地域は全国の○%!』

過疎地域とは、人口減少が著しく、少子高齢化が進んでいる地域だということは皆さんご存じだと思います。ところで、過疎市町村は全市町村の何%あると思いますか?答えは、平成29年4月1日で過疎市町村は817団体存在し、全市町村の47.6%となっています。全国の市町村のうち約半分の市町村が過疎ということになります。少し驚きますよね。

これらの過疎市町村は、著しい人口減少、少子高齢化、生活交通の不足、医師不足、限界集落の問題など多くの課題を抱えています。私の仕事は、この過疎市町村が円滑に行政運営を行えるよう財政支援について制度設計することです。制度を変えたり、新しく作ったりすることは正直簡単なことではありません。関係各課と連携し、協議を重ねながら、過疎市町村においても地方創生を推進し、それぞれの個性を發揮できる地域社会を構築できるように支援について日々考えています。

## 『国家公務員として大事なこと』

制度設計において大事なことは、政策目的に沿った制度であるか、そしてその制度の運用が適切かつ円滑に運用されるかということだと思います。私たち総務省職員は、国家公務員としてだけでなく、地方自治体に出向して地方公務員としてもキャリアを積むことにより、制度を運用する地方自治体の視点でも物事を考えるようになります。2つの視点を持って制度設計に臨むことにより、地方自治体に本当に必要な政策が実現できると思っています。

また、私は北海道に出向したのですが、道職員の皆さんが道内市町村の課題に取り組む姿や、市町村職員の皆さんが地元を思い課題に取り組む姿を間近で目にできたことは、私が今総務省で働く基盤となっていますし、この人たちのために自分も頑張ろうというモチベーションにもなっています。

もちろん仕事だけでなく、道内あちこち訪れ、北海道の魅力を存分に楽しみました。何だかんだ言ってこれこそ出向の1番の魅力です!



## Private Time

愛猫と遊んだり、近くのジムで軽く体を動かしたり、のんびり過ごす日もあれば、同僚や仲間たちと BBQ などをしたり、旅行に出かけたりするのも楽しみです。お休みは自由に過ごすことで、心と体をリフレッシュし、メリハリをつけていきます。

## Some One Week

### Monday

今週の日程・業務の打合せ。課内で情報を共有し、効率的に業務を進めます。

### Tuesday

過疎市町村からの要望に対応。現場の状況を把握することは重要です。

### Wednesday

明日の過疎対策関係の会議に備えて資料を準備し、上司と打合せを行います。

### Thursday

政党の会議に課長と出席。意見交換に対応できるように資料を持って随行します。

### Friday

国会議員より過疎対策事業債の資料要求。資料を送付し、電話でご説明します。

